

■めざすまちの姿

豊かな自然と歴史に生まれ、未来へのちつなぐまち

- ・博多湾・玄界灘や筑紫野の緑、脊振の山々といった恵まれた自然が、まちやそこに住む人びとと調和しています。…………… 人と自然との関係の視点
- ・古来より、アジアとのかかわりの中で継承されてきた歴史や築き上げた文化が、うるおいのある環境とともに、次の世代へと確実に引き継がれています。… 時間的な視点(歴史・将来)
- ・人びとが協力し、資源やエネルギーを大切に使うなど、生きものと共に住める緑豊かなまちづくりに参加しています。…………… 人と人とのつながりの視点(連携・協働)
- ・自然との調和のなかで、人びとが地域を超えてつながり、すべての人びとが地球の恵みをわかちあっています。…………… 空間的な視点(市域外とのつながり)

■低炭素のまち

エネルギーの地産地消が進み、温室効果ガスの排出が抑えられたまち

- 市民・事業者の日常的な省エネ行動が浸透しています。
- 再生可能エネルギーの普及が進むとともに、自律分散型のエネルギーシステムが構築され、エネルギーが効率的に利用されています。
- 低炭素型の都市構造と交通システムの整備が進んでいます。

■自然共生のまち

豊かな自然と共生し、その恵みに支えられ、命をつなぐまち

- ふくおかの多様な生き物や自然環境が保全・再生されています。
- 人びとが、自然からの恵みを持続的に利用しながら暮らしています。
- 生物多様性の重要性への理解が浸透し、その保全や持続可能な利用のために、市民・事業者が一体となって取り組んでいます。

■循環のまち

廃棄物等の発生が抑制され、資源が循環利用されるまち

- “ものを大切にする”精神・文化が浸透し、次世代に受け継がれています。
- 廃棄物等が資源として地域で循環・有効利用されるしくみができています。
- 市民・事業者の高い節水意識のもと、水資源が有効に利用されています。

■快適で良好な生活環境のまち

大気汚染や気候変動に伴うリスクが軽減され、歴史やすぐれた景観を活かした快適なまち

- 発生源対策や情報提供のシステム整備等により、黄砂やPM2.5などの大気汚染物質の影響が軽減されています。
- 気候変動による熱中症・渇水・洪水などのリスクへの対策や、ヒートアイランド現象への適応策が構築されています。
- 身の回りの生活環境が良好に保たれ、歴史や景観を活かした美しいまちが実現しています。

分野別施策の展開

■低炭素のまちづくり

- ・省エネルギーの促進
- ・再生可能エネルギーなどの導入・活用
- ・エネルギーマネジメントシステムの導入促進
- ・都心部及び地域拠点を骨格とする低炭素型都市の構築

■自然共生のまちづくり

- ・生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成
- ・自然からの恵みの持続的利用の促進
- ・生物多様性の認識の社会への浸透

■循環のまちづくり

- ・廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用(3R推進)
- ・廃棄物の適正処理の推進
- ・水資源の有効利用の促進

■快適で良好な生活環境のまちづくり

- ・黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応
- ・ヒートアイランド現象の緩和と適応
- ・良好な生活環境の保全と歴史・景観を活かした美しいまちの実現

■環境行動を担う人材の育成

市民・事業者等の主体的・自発的な取り組みの促進 / 環境教育・学習の推進 / 地域の連携による環境保全と地域活性化の両立 / 大学等とのネットワーク構築による人材育成及び活動機会の創出

■環境の保全・創造に向けたしくみづくり

環境情報の継続的な収集・発信と共有 / 環境影響評価の推進 / 積極的な環境配慮の促進 / 経済的手法・規制的手法などの導入を含めた統合的アプローチ

■都市圏から九州・アジアへ向けた広域的展開

周辺市町村との連携 / 九州や国内各自治体との連携 / 国際環境協力の推進

計画の推進

分野横断型施策の展開